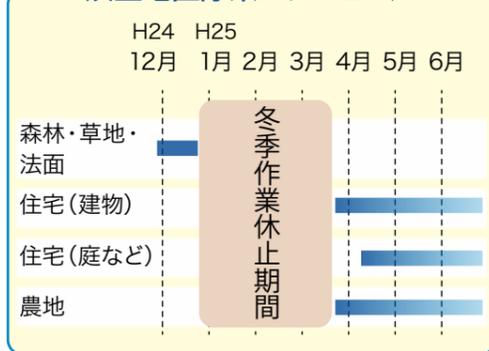




▲除染作業従事者説明会のようす

須萱地区除染スケジュール



須萱地区の除染 始まります

本村の除染については国の責任において除染が行われますが、村内でも線量の低い須萱地区においては、国の委託を受けて村が除染を行うことになりました。これは、村民の雇用を創出するだけでなく、住民参加による除染を行うことで、丁寧で住民目線の除染を行うためです。大成建設が作業を請け負い、作業員として財団法人飯館村振興公社に登録した村民を雇用するこ

とになっています。村民からなる作業員は、円滑で効率的な除染作業が行えるように、7月に除染作業セミナーを受講しています。11月26日には、除染作業に先立ち、飯野学習センターにおいて作業員を対象とした除染作業従事者説明会が開催されました。須萱地区の除染作業は12月1日から作業が始まり、今年度は除草作業や居住空間の除染作業が行われます。

本格除染 始まる

～復興を着実に進めるために～

私たちのふるさとを取り戻すために行われる除染。国は居住空間および全農地の除染を2年で行うこととし、村内では現在、二枚橋地区での除染作業が行われています。現在の除染作業についてお伝えします。



▲足場の組めない屋根の拭き取りは高所作業車を使って作業しています

村内の本格除染を行うために、村と国が協力し、これまで長泥行政区を除く19行政区に対し行政区除染説明会を開催し、事前調査や現地説明への協力を求めています。本格除染が始まった二枚橋・須萱行政区のほか、白石、上飯桶行政区でも個別の現地説明が完了し、白石行政区では8割以上の住民から除染作業への同意が得られています。また、その他の行政区でも、現地説明が完了次第、順次同意取得が行われます。

二枚橋地区の除染作業は、二枚橋郵便局付近から作業が始まっています。迅速な除染を行うため、複数の家屋の除染作業を並行し、面的に行っています。それぞれの家屋では、屋根や外壁・窓の拭き取りなどが作業員によつて丁寧に進められています。

村は国に対し、今後とも村民に寄り添った、迅速で丁寧な除染を求めています。

11/9 現地モニタリング調査を実施

国が行う村内の除染について検証評価を行う「飯館村までいな除染会議」は、村が国の委託を受けて除染を行う須萱地区の現地モニタリング調査を行いました。これは、除染効果を住民目線で確認するため、除染の事前・実施中・事後のモニタリング調査を行うものです。

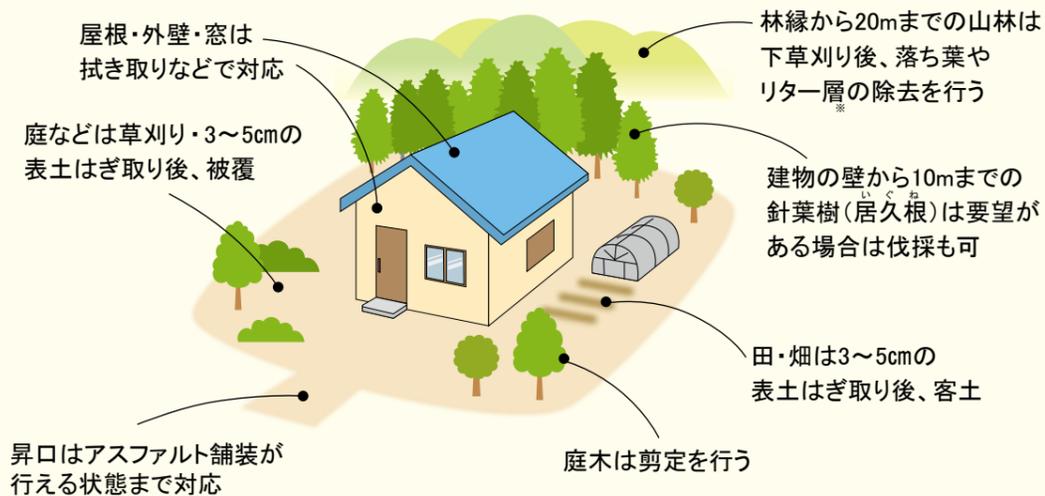
この日は、NPO法人ふくしま再生の会 岩瀬広さんからモニタリングの方法を説明された後、実際に



▲モニタリングを行う委員

須萱地区の宅地や裏山のモニタリングを行いました。今回の調査を踏まえ、まていな除染会議では国に対しより良い、村民に寄り添った除染になるよう提言する予定です。

本格除染で行う除染方法



※リター層：植物の枝や葉が地表に堆積し、未分解の状態の層

参加した委員の声

小林洋子さん(小宮)

専門家が持って計測するサーベイメーターで自分が測定するとは思ってもみなかったです。

村の宅地は高い木に囲まれたり、切り立った斜面があったりと、丁寧に除染を行わなければ帰れないと思います。国や県の担当の方には、しっかりと現場を見に来て対応してほしいと改めて思いました。